

## 新美化センター建設候補地二次選定結果（案）

※二次選定は現在審議中です。また、候補地の特定につながる内容は表示しておりません。

評価項目、評価の考え方（概要）			候補地（No. 面積）												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			約3ha	約3ha	約2.5ha	約2ha	約3.5ha	約3ha	約6ha	約3.5ha	約5ha	約2ha	約2ha	約2ha	
二次選定	用途地域	評価	国交省策定の「都市計画運用指針」より、用途地域が指定されている区域においては、工業系の用途地域に設置することが望ましいとされていることから、工業系地域を優位とする	工業地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域	工業専用地域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域
		点数		10	10	10	10	5	5	5	5	10	5	5	5
	土地利用	評価	グラウンド、事業予定地、公園、緑地、農地、太陽光発電等の土地利用がされていない未利用地、遊休地を優位とする												
		点数													
	将来計画	評価	将来的な公共事業計画や都市計画マスタープラン等土地利用計画と支障がない候補地を優位とする												
		点数													
	ユーティリティー	評価（電気）	インフラ整備費用は安価な方が望ましいため、多くのユーティリティー（電気、上水道、下水道、ガス）の接続が見込める候補地を優位とする												
		評価（上水）													
		評価（下水）													
		評価（ガス）													
		点数													
	搬入道路	評価	主要道路からの搬入経路として、アクセス道路の整備（用地取得等）が不要な候補地を優位とする												
		点数													
	障害・影響	評価（建設）	事業の推進に影響を与える現況の土地利用上の課題を判定する 水路等法定外公共物や、鉄塔、送電線等、施設建設に伴う支障物や支障となる要因がない候補地を優位とする												
		評価（配置）													
		点数													
	人口重心	評価	収集運搬効率、住民の利便性（ごみの持ち込みやすさ）に配慮し、経済性並びに利便性の観点から、人口重心からの距離が短い候補地を優位とする												
		点数													
	活断層	評価	活断層の影響を考慮する必要がない候補地を優位とする												
		点数													
家屋倒壊	評価	浸水想定、氾濫想定から判定する 水害により、施設の安定稼働に支障を来すおそれがあり、また、対策工事に時間を要し、追加費用も発生するため、危険度が低い候補地を優位とする													
	点数														
洪水	評価														
	点数														
津波	評価														
	点数														
高潮	評価														
	点数														
液状化	評価	液状化の可能性を判定する 地震災害により、施設の安定稼働への支障やごみ搬入にかかるリスクが高くなるおそれがあり、また、対策工事に時間を要し、追加費用も発生するため、液状化危険度が低い候補地を優位とする													
	点数														
合計															
三次選定対象															

選定評価中